



三菱電機パッケージエアコン別売部品
脱臭フィルター
形名:PAC-SH58CF

据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確실히行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻などをふさぎ窒息する原因になります。
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。
- 作業をする際には、必ず空調機の運転を止めてください。
- 内部のファンが回転したまま作業をすとケガの原因になります。

- 電気配線は、電流量にあった規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱、火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています)

品番	①脱臭フィルター	②プレフィルター
個数	1	1
形状		

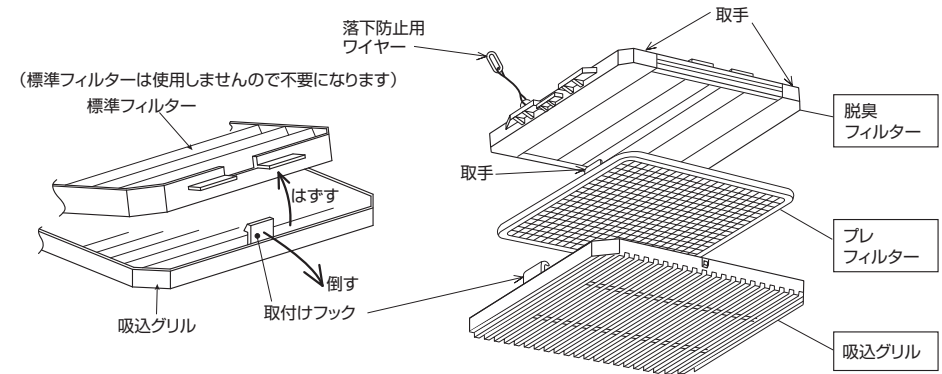
お願い

- (1)取付けの際、脱臭フィルターの中央を強く押さないでください。
脱臭フィルターが破損するおそれがあります。(必ず、脱臭フィルターの取手部分を持って取付けてください)
- (2)脱臭フィルターの表面が白くなる場合がありますが、性能には特に影響ありません。
- (3)脱臭フィルターは水洗いをしないでください。(脱臭フィルターの主材質は紙です)
- (4)プレフィルターは必ず定期的に清掃してください。(ごみ詰まりは露付き露たれ等の原因になります)
- (5)脱臭フィルターの落下防止用ワイヤーの金具を必ず吸込グリル落下防止用ワイヤーに引っ掛けてください。

2. フィルターの取付け

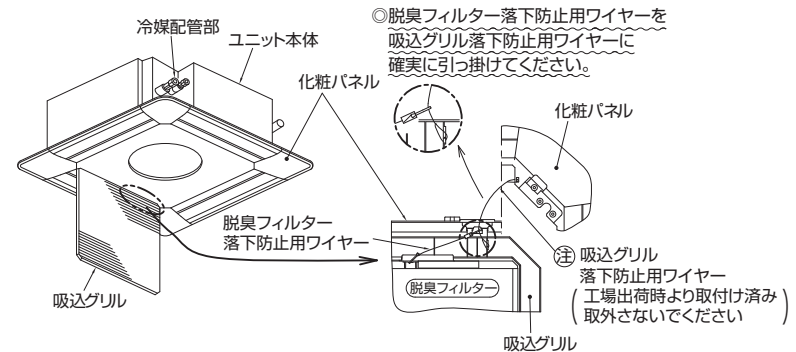
注意 作業をする際には、必ず空調機の運転を止めてください。
●内部のファンが回転したまま作業をすとケガの原因になります。

- (1)化粧パネルの吸込グリルを開けてください。(詳しくは、化粧パネルの取扱説明書をご覧ください)
- (2)標準フィルターを外し、プレフィルター、脱臭フィルターの順序で吸込グリルに取付けます。
(脱臭フィルターの取付方法は標準フィルターと同じです。プレフィルターは、取手が脱臭フィルター側にくるようにしてください。)
- プレフィルターは必ず使用してください。使用しないと脱臭フィルターの寿命が短くなります。
- 吹出口数を2方向で使用する場合は、脱臭フィルターの使用はできません。
- 脱臭フィルターを取付けた場合、運転音が大きくなる場合があります。
- 取外した標準フィルターは使用しません。



(3) 落下防止用ワイヤー(標準パネルのみに使用します)

- ①標準パネルの場合……落下防止用ワイヤーの金具を下図に示すように吸込グリル落下防止用ワイヤーに引っ掛けてください。(吸込グリル開閉時のワイヤー金具はさみ込みに注意)
- ②自動昇降パネルの場合……昇降動作の障害になる場合がありますので必ず取外してください。



3.機能選択の設定 ★初めて脱臭フィルターを取付ける際には必ず必要になります。

(1)オプション組込み(高性能フィルター)の設定

お願い オプション組込みの設定をしてください。
設定に不備があると風量が低下し、能力の低下
および露たれ等が発生する原因になります。

①組合せ室内ユニットがMPL(Z)-BAシリーズの場合

リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の

機能選択 の頁をご覧ください。(オプション組込み **有り** に設定する)

②組合せ室内ユニットが上記以外の場合

室内ユニット本体のアドレス基板(下図参照)のスイッチ“SWC”を **オプション** 側に
設定してください。(工場出荷時は **標準**)

(2)フィルターサインの設定 (リモコンに **フィルター(清掃)** が点滅して清掃時期をお知らせします)

プレフィルターを清掃しないで使用できる期間は約100時間です。

清掃を確実に行って頂くためにフィルターサインを100時間に設定してください。

(工場出荷時は2500時間の設定)

①組合せ室内ユニットがMPL(Z)-BAシリーズの場合

リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の

機能選択 の頁をご覧ください。(フィルターサイン **100時間** に設定する)

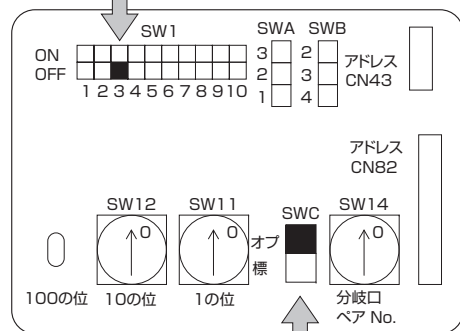
②組合せ室内ユニットが上記以外の場合

室内ユニット本体のアドレス基板(下記参照)のスイッチ“SW1の3番”をOFF側に設定してください。

(工場出荷時はON側)

フィルターサインの設定

〈アドレス基板〉



オプション組込みの設定

4.プレフィルターの清掃方法 ★一般的な清掃の目安(リモコンにフィルターサインが出た時)

(1)プレフィルターを取外します。

①吸込グリルの取付けフックを倒して脱臭フィルターを取外します。

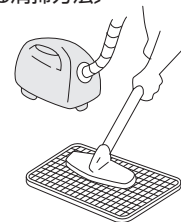
②プレフィルターを取り出します。(取手をつかめば簡単に取れます)

(2)プレフィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いします。

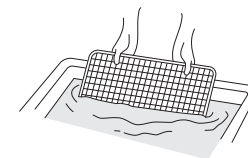
●汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすいでください。

●熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。(変形することがあります)

〔推奨する清掃方法〕



掃除機で吸い取る



中性洗剤を溶かした
ぬるま湯ですすぐ

(3)水洗いした後は、日陰でよく乾かします。

●直射日光や直接火にあてて乾かさないうでください。(変形することがあります)

(4)元の状態に取付けます。(取外しの逆の手順)

(5)“フィルター(清掃)”表示をリセット。フィルター清掃後 **フィルター** ボタンを2度押してください。

● **フィルター** ボタンを2度続けて押すと、リモコンの表示が消えリセットされます。

●“フィルター(清掃)”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。

環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

脱臭フィルターは1年(約2500時間)をめぐりに新しいものと交換してください。